

《担当者名》 奥田 かおり (k-okuda@hoku-iryo-u.ac.jp) 佐々木 敏明 (非)

【概要】

現代の日本における精神保健に関する様々な個別課題への取り組みや地域における精神保健医療福祉活動の実際に関する知識を深め、精神保健福祉士の活動内容を理解することを目的とする。

【学修目標】

現代社会における精神保健に関する様々な課題について、どのような取り組みがなされているか、要点を説明できる。精神の保健に関する時事的な出来事に関して説明ができ、意見が述べられる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 精神保健の歴史	学習の目的・内容の説明 精神保健への関心について意見を述べる。 精神保健学 で学んだ精神保健の歴史的背景を振り返る。	奥田
2	家族に関する精神保健の課題と支援	現代日本の家族の特徴を知り、家族の抱える問題について理解する。 ジェノグラムやエコマップなどを使いながら事例の家族の特徴・現状について説明できる。	奥田
3	家族に関する精神保健の課題と支援	家族が抱える問題への支援について理解する 家族問題へ取り組むときに必要な社会保障制度、資源について調べる。	奥田
4	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ	学校、教員が抱える精神保健の課題（不登校、いじめ、子供の自殺）について理解する。 現代の小・中・高校の生徒・教員が抱えている問題についてどのようなことが要因となっているか客観的に判断し説明できる。	奥田
5	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ	学校現場への支援について理解する 学校現場にはどのような支援が存在するかを調べる。 またどのようなサポートがあるとより生徒・教員が学校生活を送れるかをグループディスカッションを通じて批判する。	奥田
6	精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ	現代勤労者の特徴、抱える課題について理解する。 近年の時事的な勤労者に関係する社会的現象について説明する（新聞等からこの問題に関する記事を探し、発表する）。	奥田
7	精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ	勤労者、職場内への支援について理解する。 精神科医療で実際に行われているプログラムなどについてどのようなものがあるか調べ、批判する。	奥田
8	精神保健に関する予防と対策	発達障害に関する対策と支援について理解する。 発達障害を抱えて生きる当事者の事例を使いグループで支援について検討する。既存の社会資源について批判する。	奥田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	精神保健に関する予防と対策	うつ病と自殺防止について理解する。 グループディスカッションを通じて うつ病の予防・早期発見、早期治療についての現状について批判する。	奥田
9	精神保健に関する予防と対策 精神保健に関する専門職種	精神障害者に関する就労プログラム（リワーク）について理解を深める。 精神科クリニックデイケアでの精神保健福祉士の役割について学ぶ。	佐々木渉（特別講師）
10	精神保健に関する予防と対策	アルコール依存症当事者またその家族の経験を基に支援の方法への理解を深める。 アルコール依存症の自助グループについて理解を深める	高橋哲也（特別講師） 奥田
11	精神保健に関する予防と対策	アルコール・薬物依存に対する対策と支援について理解する。 アルコール依存の当事者と家族が抱える苦労について調べる。	佐々木
12	精神保健に関する予防と対策	ニート・ひきこもりの現状とその対策について理解を深める ニート・ひきこもりが抱える課題（社会的背景）についてグループでディスカッションをする 近年のひきこもり支援についての動画を見ながら、その支援方法について批判する	奥田
13	精神保健に関する予防と対策	高齢者・ターミナルケアに関する課題と精神保健福祉士の役割について理解を深める。	奥田
14	海外における精神保健	フィンランドにおける対話による精神科医療の取り組みについて理解を深める。 日本における対話実践についての理解を深める。	奥田
15	海外における精神保健 精神保健学 まとめ	WHOが提唱する精神保健の健康について理解を深める。 海外における精神保健の諸活動、実践について知る。 今期、この授業で学んだことについてのグループプレゼンテーションを実施する。	奥田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 50%

ゲストスピーカーへのリアクションペーパー 各10%

グループプレゼンテーション 30%

【教科書】

新・精神保健福祉士養成講座 2．現代の精神保健の課題と支援 中央法規

【備考】

この科目は精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「現代の精神保健の課題と支援」に該当する。

【学修の準備】

- ・教科書やインターネットなどを活用して、次回の学習課題について予習しておくこと。
- ・各自の興味がある精神保健の問題について発表をするので新聞、インターネット、学術誌を用いて平日頃から精神保健に関する問題について調べておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,3,5

【実務経験】

奥田かおり ソーシャルワーカー
佐々木敏明 ソーシャルワーカー

【実務経験を活かした教育内容】

奥田かおり： 社会福祉施設（母子生活支援施設）、精神保健福祉領域（医療機関）などでの実務経験を活かしアクティブラーニングスタイルで実践的な教育を行う。

佐々木敏明： 精神保健福祉領域（行政・医療機関）での実務経験を通じて得た知識・技術等を活用し実践的な教育を行う。